

佐久水道新聞

No.141

2024年(令和6年)

11月1日発行

発行/佐久水道企業団

E-mail info@sakusuidou.or.jp



R60

この新聞はエコマーク認定の古紙配合率60%の再生紙を使用しています。

▶主な目次

令和5年度決算状況、議会だより、職員人事異動 (2)
零一有機フッ素化合物(PFOS、PFOA)って何?—
職業訓練生募集 …………… (3)

無料点検、水道施設見学会、女性水の会視察 (4)
社会科見学、出前授業 …………… (5)
企業団からのお知らせ …………… (6)

水道施設見学会開催

大自然が育むおいしい水



五斗水水源からほど近い大河原峠で記念撮影



岩間を流れる水源の水



水温5℃の冷たい湧き水

令和5年度決算状況をお知らせします

令和5年度は佐久穂町上地籍の新水源地、佐久市内山地籍及び瀬戸地籍の新配水池の稼働に向けた整備を行いました。また、そのほかに、前年度に引き続き老朽化した管路の更新を行いました。

水道水をお届けするための収入と支出

金額は消費税を含みません。

業務量

- ◇ 給水戸数 54,270戸
- ◇ 年間配水量 15,078,113m³
- ◇ 年間有収水量 12,673,860m³ ※
- ◇ 新設給水工事件数 530件

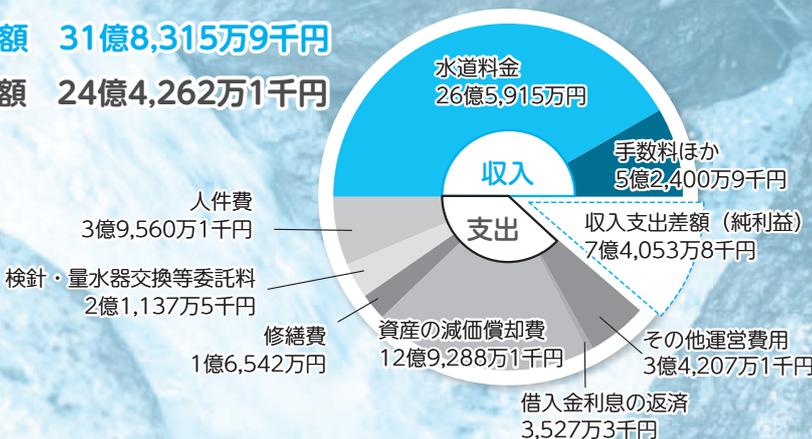
※年間有収水量とは年間配水量のうち水道料金の対象となった水量です。

<収支状況>

収入額は31億8,315万9千円、支出額は24億4,262万1千円で、収入支出差額（純利益）は7億4,053万8千円となりました。純利益の一部は水道管や施設を新しくするための資金として積み立てました。

収入額 31億8,315万9千円

支出額 24億4,262万1千円



水道管や施設を新しくするための収入と支出

金額は消費税を含みます。

主な事業

- ◇ 佐久穂町屋敷入水源地造成及び配管工事
- ◇ 佐久市瀬戸送水管布設工事
- ◇ 佐久市内山大月配水池築造工事
- ◇ 老朽管の更新工事
- ◇ 水源地及び配水池の施設改修工事

<収支状況>

収入額は1億5,181万4千円、支出額は26億3,119万円で、収入額が支出額に対し不足する額は24億7,937万6千円となりました。

この不足分は、内部留保資金と積立金で補てんしました。

収入額 1億5,181万4千円

支出額 26億3,119万円



職員人事異動

() 内は旧職名

◎【令和6年10月1日付】

- ▼浅麓水道企業団派遣・参事 依田 孝幸 (浅麓水道企業団派遣・副参事)
- ▼次長兼総務課長 蟹澤 良徳 (総務課長)
- ▼佐久圏域水道水質検査協議会派遣・参事 野瀬 克則 (佐久圏域水道水質検査協議会派遣・副参事)

議会だより

令和6年第2回議会定例会

議案審議結果

令和6年第2回佐久水道企業団議会定例会が8月7日に開かれました。議案1件について審議の結果、原案どおり全会一致で可決及び認定されました。

【利益の処分及び決算】

令和5年度佐久水道企業団水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

▼原案可決及び認定



ピーフォス、ピーフォア —有機フッ素化合物PFOS、PFOAって何?—

最近ニュースで取り上げられることも多くなってきたPFOSとPFOAについての情報をQ&Aでご紹介します。

Q 最近ニュースで「PFOS」「PFOA」という言葉を見かけますがどんなものですか?

Q 危険な物質なんですか?

Q 水道水は大丈夫ですか?きちんと検査していますか?

A 有機フッ素化合物(PFAS)の一種で工業的に利用されてきた物質ですが、現在は国際的に規制が進み日本では製造・使用等が禁止されています。

A まだわからないことが多く研究が進められていますが蓄積性や残留性による人体への影響が懸念されています。

A 全国の水道事業者で国で定めた目標値を超えないように取組が進んでいます。企業団の水質検査結果はホームページで公開しています。

有機フッ素化合物について

有機フッ素化合物とは、炭素とフッ素の結合をもつ有機化合物で、一万種類以上の物質があるとされています。その内のペルフルオロオクタンスルホン酸(以下「PFOS」(ピーフォス))及びペルフルオロオクタノン酸(以下「PFOA」(ピーフォア))は、人の健康に対して有害であると言われています。現在、国で定めているPFOS及びPFOAの上限の検出値を暫定目標値といい、その算出根拠は、「人が生涯にわたり摂取しても健康に対する有害な影響が現れない」と判断される値」とし、PFOS及びPFOAの合計した値で50ng/L以下と定めています。(1ngは、1gの10億分の1です。)PFOS及びPFOAの性状は、化学的に極めて安定性が高く、水溶性でかつ揮発しない物質であるため、環境中に放出された場合には、水に溶けやすく、また、分解されにくいため長期的に環境に残留すると考えられ「永遠の化学物質」と言われています。用途としては、水や油をはじく性質を併せ持つ特異な化学的性質として様々な表面処理や泡消火薬剤等に使用されてきました。

た。近年、有害性、蓄積性や残留性などが明らかになってきたため、国内では製造及び使用等が禁止されている物質です。全国的に、河川水や水道水などから検出される事例がみられるなどから報道されています。新聞等でも報道されています。県内においても、河川に近い地下水の水源から検出された事例があり、企業団としても注視しているところです。

このような状況であることから、当企業団でも令和5年度に管内の全水系にあたる31水系を対象にPFOS及びPFOAの水質検査を実施いたしました。結果は、すべての水系で不検出でした。今年度におきましても令和5年度同様全31水系で水質検査を実施し、全水系で不検出であることが確認されています。今後も、定期的な水質検査を実施し監視をしていくことが必要であると考えています。

このPFOS及びPFOAの水道水の水質検査に関する国の基準は、現段階では水質の監視項目とされている水質管理目標設定項目に位置づけられていますが、定期的な検査が義務づけられる水質基準への分類変更及び暫定目標値の上限値50ng/Lの見直しなどが国において検討されているところです。

佐久高等職業訓練校 —令和7年度職業訓練生募集!—

- 募集科 普通課程 設備施工系配管科
- 募集定員 5名(最少開講人数3名)
- 募集期間 令和6年11月1日(金)～令和7年1月31日(金)まで
- お申し込み・お問い合わせ
佐久高等職業訓練校
☎0267-62-2276



佐久水道企業団では配管技能士の育成に協力しています。

給水装置の無料点検を実施

9月13日に佐久管工事業協同組合様と共催で70歳以上の方を対象とした給水装置の無料点検を行いました。

今回は事前にお申込みがあった23名の方のお宅を訪問し、パッキンの交換や漏水の有無の確認調査、水圧のチェックを行い、水道に関するご相談も受けさせていただきました。

特に多かったご相談

●蛇口を閉めたのに水がポタポタ落ちてくる

蛇口の内部には止水のためにパッキンというゴム状の部品が取り付けられていることが多く、このパッキンが摩耗してくると蛇口を閉めても水が止まりにくい状態になります。

パッキンが摩耗した状態のまま使い続けると、突然止水機能がなくなり、水が大量にかけ流しになってしまうこともありますので、蛇口の水が止まりにくいと感じた場合は早めにパッキンを交換するか水道の設備業者にご相談ください。



▲佐久管工事業協同組合青年部の方々と企業団職員の合同チームで23軒のお客様のお宅を訪問。



▲摩耗したパッキンを取替。



▲水圧を確認

水道施設見学会開催! -水道施設をめぐる旅-

8月17日に佐久水道新聞第140号で募集しました水道施設の見学会を開催し、18名の方と大石水源・五斗水水源・稻荷山配水池の3箇所をめぐるしました。



苔生した岩の下の湧水が水源となっている大石水源（佐久穂町）の湧き水（約10℃）。

「山の自然がすてきでした。」「歩いた後の冷たい水源水サイコーでした!」と感想もいただきました。



最も人気だった五郎兵衛用水の水源にもなっている五斗水水源（佐久市）の湧き水（約5℃）。

「すごく冷たくておいしかった。」「涼しい。」「とても冷たくお水が美味しいのはもちろんの事、景色が良かった。」と好評をいただきました。



企業団の前身である佐久平上水道組合設立当初に造られた稻荷山配水池では、配水池の中の様子を小窓から見学していただきました。

次回のご参加をお待ちしています!

佐久水道女性水の会視察実施 -企業団管内施設・上田市染屋浄水場-

9月26日に水道事業のモニターとして活躍されている佐久水道女性水の会の会員の皆様にご参加いただき、水道施設の視察を行いました。

視察では、午前中に企業団の管理する大石水源、高野町着水井、高野町配水池、稻荷山配水池などの運用状況をご確認いただきました。また、午後は上田市上下水道局の管理する染屋浄水場を訪問し、企業団との水道施設の特色や運用状況の違いなどに関し、理解を深めていただき、ご意見を頂戴しました。



▲高野町第4水源（佐久穂町）を視察



▲上田市染屋浄水場の緩速ろ過池を視察

社会科見学 一水道の水はどこからくるの？一

佐久地域の学校では水道について学ぶ授業があり、今年も多くの児童の皆さん、生徒の皆さんが水道施設を訪れ、水資源の貴重さや大切さについて勉強されました。



きれいで冷たい 水源 水源水に大盛況

企業団の水源の99%は湧き水や井戸水などの地下水です。

大石水源と五斗水水源では、水源である湧き水が流れている様子を直接見たり試飲することができます。5月30日には佐久穂小学校の皆さんが大石水源を、7月11日には望月サテライト校の皆さんが五斗水水源で水源水の試飲を体験されました。



▲大石水源(佐久穂町)で取水された湧き水が流れる様子を観察する佐久穂小学校の皆さん。



▲五斗水水源(佐久市)を訪れた望月サテライト校の皆さん。岩の間を流れ出る湧き水を注視。

浄水場 見学場所人気ナンバー1

企業団の水源のほとんどはろ過の必要がなく、次亜塩素酸ナトリウムを法律で決められた量を入れるだけで水道水として皆さんの家へ送ることができます。(塩素消毒)しかし、水質が雨など天候の影響を受けやすい場所等では急速ろ過機を設置し、万全を期しています。

配水池も併設された御代田浄水場は見学場所としてとても人気が高く、5月29日にはサミットアカデミーエレメンタリースクール佐久の皆さんが、6月25日には岩村田小学校の皆さんが見学に訪れました。



▲御代田浄水場(御代田町)の急速ろ過機を見学する岩村田小学校の皆さん。砂とペットボトルを使ったろ過実験では身を乗り出して集中。



▲御代田浄水場と配水池の情報を監視・記録する機械を見学するサミットアカデミーエレメンタリースクール佐久の皆さん。施設の画像なども撮影して勉強。

配水池 配水池の上で中を観察 塩素の測定実験が人気

皆さんの家へ送る水を貯めて確保したり、次亜塩素酸ナトリウムを入れて濃さを調整する役割がある配水池では、点検口から内部の様子を観察したり、塩素濃度を測る検査を体験してもらいました。

9月6日に北御牧小学校の皆さんが望月第一配水池を見学されました。



▲望月第一配水池(佐久市)で点検口から中の様子を観察する北御牧小学校の皆さん。「1日でどのくらいの量の水を配っているの?」と質問も。



▲望月第一配水池で塩素濃度を測る実験をする北御牧小学校の皆さん。

出前授業 一災害時の避難生活を想定した体験学習で給水体験一



▲被災地での実際の給水活動のお話を中心に講義させていただきました。



▲給水車から給水袋に水を入れる野沢中学校の生徒さん。

7月25日に災害時の断水している場所での避難所生活を想定した体験学習を行っている野沢中学校の皆さんの授業を講師としてお手伝いしました。

講義では実際に被災地で給水活動を行った職員が現地での体験談なども交えながら防災についてお話し、給水車から給水袋や手持ちの容器に水を入れる給水作業も体験してもらいました。

企業団からののお知らせ

水道管の冬支度は忘れずに

外気温が**マイナス4度以下**になると、水道管が凍結し、破裂する可能性が高まります。

水道管の凍結や凍結による破裂が起こった場合は、お客様ご自身で水道設備業者に修理を依頼することが必要になり、修理費用や漏水分の水道料金もご自身の負担となりますので、水道管の防寒対策をしっかりと行って冬に備えましょう。

■冬場の水道管の管理方法

○凍結防止帯で管理している場合

コンセントやスイッチの動作確認をしてください。

○不凍栓（水抜栓）で管理している場合

不凍栓を完全に閉めて蛇口を全開にしてください。

※蛇口を開けなければ配管内に水が残り、凍結することがあります。また、不凍栓が半開きの状態だと漏水してしまう可能性があるので、必ず閉め切ってください。

○凍結防止帯や不凍栓がない場合

水道設備業者へ相談していただくか、市販の保温材等で露出している管を包み、その上からビニールテープで巻くなどして保温してください。

水道管が凍結してしまったら…

凍結部にタオル等を当ててぬるま湯をかけて解氷してください。破損してしまったら不凍栓やメーターボックス内のバルブで水を止めて水道設備業者へご相談ください。

※熱湯をかけると管が破損する可能性があるため熱湯は使用しないようご注意ください。



■冬場の水道管の管理方法

冬場に空き家等長期不在になる場合、凍結防止対策をお願いします



維持係 ☎0267-62-2308

★冬場の検針にご協力ください

メーターボックス付近の除雪をお願いします。
また、除雪した雪をメーターボックス上に置かないようお願いいたします。



業務係 ☎0267-62-4333

★給水装置工事事業者の指定

以下の業者が新たに指定となりました。

(同)ドリームウォーターハート

小海町大字千代里3620-1 ☎ 080-1290-8784

中山設備

佐久市今井119-1 コーポセシボンS312

☎ 080-1279-9801

給水係 ☎0267-62-2980



「水の日」に庁舎のブルーライトアップを実施

8月1日に、8月1日から7日までの「水の週間」の一環として、「有限な水資源の大切さ」や「健全な水循環」についてお伝えするため、企業団庁舎を「水」を連想させるブルーのライトでライトアップしました。

水道に関するお申込み・お問い合わせ

水道料金について：料金係 ☎0267-62-4085

水質について：配水係 ☎0267-62-4052

営業時間 8：30から17：15まで（土日祝日除く）

代表 ☎0267-62-1290

漏水について：維持係 ☎0267-62-2308

使用水量について：業務係 ☎0267-62-4333

ホームページ <https://www.sakusuidou.or.jp>